

【参考資料】自己改革工程表（2019年度～2021年度）

農業と地域の未来を見据えて ～組合員とともに 協同組合らしく 農業と地域の未来を拓く～

自己改革工程表とは…

「自己改革工程表」とは、3カ年の中期ビジョンを示した第8次中期経営計画書の補足として、多くの取組み施策の中からJAうまが組合員と共有すべき重点施策を抽出したものです。自己改革に関する具体的な施策とその数値目標やスケジュール、担当部署等を明確にすることでより実効性ある進捗管理を行うとともに、組合員や地域住民に対し自己改革に関する理解促進を図るものです。

JAうまの将来像

- ・持続可能な農業の実現
- ・豊かで暮らしやすい地域社会の実現
- ・協同組合としての役割発揮

基本目標

- ・農業者の所得増大
- ・農業生産の拡大
- ・地域の活性化

実現のための基本方針

- (1) 自己改革を継続し農業者の所得増大と農業生産の拡大を目指します
- (2) 総合事業体としての機能発揮により地域の活性化へ貢献します
- (3) 暮らしの課題に向き合い組合員や利用者とのつながりを深めます
- (4) 豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献するため経営基盤を強化します

3年後の事業目標

販売品販売高 20億円



【里芋広域選果場】



3カ年の重点実践事項

(1) 自己改革を継続し農業者の所得増大と農業生産の拡大を目指します

＜実践事項＞ 担当部署：営農経済部

- ・エリア及び品目別担当制により営農指導員の技術指導レベルの平準化と資質向上を図ります。
- ・マーケットインを起点に、基幹品目である伊予美人の高品質化とロット拡大による有利販売の実現に取り組みます。
- ・JAファームうまと連携した農作業受託等により、多彩な営農形態に対応する労働力支援を実施します。
- ・地域農業の振興を図るため、行政機関等と連携し新規就農者支援を強化します。
- ・6次産業化サポートセンターの機能強化により付加価値の創出に努めます。

2019年度（令和元年度）	2020年度（令和2年度）	2021年度（令和3年度）
TAC指導訪問件数 50件/月	TAC指導訪問件数 50件/月	TAC指導訪問件数 50件/月
伊予美人出荷数量 2,300t	伊予美人出荷数量 2,300t	伊予美人出荷数量 2,300t
農作業受託延べ面積 300ha	農作業受託延べ面積 310ha	農作業受託延べ面積 320ha
新規就農研修生受入 1名	新規就農研修生受入 1名	新規就農研修生受入 1名
6次産業化商品化数 1点	6次産業化商品化数 1点	6次産業化商品化数 1点

(2) 総合事業体としての機能発揮により地域の活性化へ貢献します

＜実践事項＞ 担当部署：本店営業部・金融部・福祉部

- ・農業メインバンクとしてTACと連携し農業者のステージに応じた資金供給や農業経営支援を実施します。
- ・福祉事業を通じて地域の活性化と福祉環境の向上に努めます。

2019年度（令和元年度）	2020年度（令和2年度）	2021年度（令和3年度）
農業資金新規実行額 9,500万円	農業資金新規実行額 9,500万円	農業資金新規実行額 9,500万円
介護相談会実施回数 8回	介護相談会実施回数 8回	介護相談会実施回数 8回

(3) 暮らしの課題に向き合い組合員や利用者とのつながりを深めます

＜実践事項＞ 担当部署：共済部・総合企画部

- ・様々なライフステージにおいてニューパートナーを獲得し、顧客基盤の拡充を図ります。
- ・総合事業体として地域社会に貢献するため、組合員・利用者の暮らしの課題に向き合います。

2019年度（令和元年度）	2020年度（令和2年度）	2021年度（令和3年度）
「はじまる活動」実施数 3,000世帯	「はじまる活動」実施数 3,000世帯	「はじまる活動」実施数 3,000世帯
セミナー開催・相談対応件数 30件	セミナー開催・相談対応件数 35件	セミナー開催・相談対応件数 40件

(4) 豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献するため経営基盤を強化します

＜実践事項＞ 担当部署：総務部・総合企画部

- ・農に基づくメンバーシップの強化により、農業や地域経済の発展を共に支えるパートナーづくりを進めます。
- ・情報発信機能を強化し「食」「農」「協同組合」等に関する理解醸成を図ります。

2019年度（令和元年度）	2020年度（令和2年度）	2021年度（令和3年度）
組合員数 14,735人	組合員数 14,785人	組合員数 14,835人
自己改革情報の発信（広報誌） 6回	自己改革情報の発信（広報誌） 6回	自己改革情報の発信（広報誌） 6回